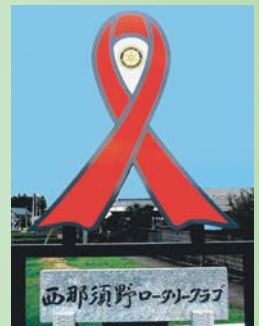


Service Above Self (超我の奉仕)  
**西那須野ロータリークラブ週報**  
 Nishinasuno Rotary Club Weekly

・月井 美好 西那須野ロータリークラブ会長テーマ・  
**クラブ創立の原点を見つめ 前進しよう**



**第2485回(本年度第30回)2026. 3. 24**



**RIテーマ**  
**よいことのために手をとりあおう**  
**"Unite for Good"**  
 フランчесコ・アレツォ RI会長



**地区テーマ**  
**ロータリーは**  
**人をつくり 友情を育む**  
 二十二 修 2550地区ガバナー



開会宣言・点鐘 会長 月井 美好さん  
 司会 SAA 郡司 義貴さん  
 ロータリーソング  
 お客様紹介 隼人高校インターアクトクラブ  
 (アジア学院研修)  
 生徒 関優羽様、国廣海風様、  
 野田朱莉様、野口悠斗様、  
 來宇翔様  
 引率 中野卓弥様、菊池優斗様



**会長の時間**

**日光山輪王寺強飯式に参列して**

会長 月井 美好さん

強飯式の由来は日光山に伝えられた儀式の一つです。寺伝によると式の起こりは勝道上人が奈良時代末に日光を開いてからです。

山伏の入峰行が盛んになり山伏が修行した行場の御本尊にお供えした御供を持ち帰り、上人をはじめ人々に分かち与えたことがその始まりと言われております。

その後、入峰行の場合だけではなく、日光三社権現(千手観音・阿弥陀如来・馬頭観音)から御供をいただく儀式となりました。

さらに三社権現の信仰と開運の三天(大黒天・弁財天・毘沙門天)の信仰が結びつき、江戸時代にほぼ現在の形となったとされている。飯を強いることから「日光貴」の名で知られる全国でも希な珍しい行事です。

強飯頂戴の儀とその功德は山伏が吹く勇壮な法螺貝の鳴る中、紋服・袴姿の強飯頂戴人が介添えに導かれ所定の座に着席、儀式が進められる。

先ず朱塗りの大盃に並々とつがれた酒を頂く「御神酒」の儀が行われる。

**4月7日 例会プログラム**

18:00	開会宣言・点鐘	月井美好会長
18:01	ロータリーソング	
18:03	お客様紹介	月井美好会長
18:04	会長の時間	月井美好会長
18:23	委員会報告	
18:25	幹事報告	田原直之幹事
18:28	スマイルボックス報告	
		大塚 久スマイルボックス委員長
18:29	出席報告	永山三芳出席委員長
18:30	閉会宣言・点鐘	月井美好会長

無断欠席は会費の無駄遣いです。無断欠席罰金 2,000円徴収。  
**SAA 郡司 義貴 (携帯 090-1667-3497)**  
**FAX 0287-36-8536 TEL 0287-36-0239**

**会長 月井 美好 幹事 田原 直之**  
**会報委員会 金田 道太・伊藤 悟・久保 世一**  
**森 英夫**

次に山盛り(三升)のご飯が運ばれ、祈願文(諸願成就)の儀が修せられた後、山伏たちにより大飯を「三社権現より賜るところの御供ジャ…」の口上とともに頂戴人の頭上に載かせ「七十五杯残さず頂戴しろ…」と責めが始まる。

大先達より強飯式の由来が述べられ、ご馳走として、日光山名物珍味を盛り上げた菜膳が添えられる。最後に毘沙門天の金甲(兜を表す)を頂戴人の頭に授け、めでたく儀式が円成する。

この儀式を受けた頂戴講中および堂内に参列した方々は、日光三社大権現の加護により、七難即滅・七福即生(すべての難を逃れ、すべての福を授かる)家運長久(家内安全・商売繁盛・心願成就)などが成就すると言われている。

強飯式の流れ、三天合行供→採灯大護摩供→「強飯頂戴の儀」御神酒→祈願文→強飯→菜膳→金甲→供養→「縁喜がらまき」

三仏堂(本堂)の現在の建物は正保二年(1645)により徳川三代将軍家光公により造替された。古くは二荒山神社境内にありましたが、明治維新の神仏分離令が下るによって、現在の地に移築され威容を誇っている。この建物は二社一寺および東日本最大の木造建築、1999年世界遺産に登録されました。

## チャーターメンバー鈴木基一PDG卓話

クラブ設立当時(50年前)のチャーターメンバー鈴木基一PDGの会員卓話が手に入りました。

西那須野ロータリークラブ設立当初の出来事や国際交流が盛んになった原点が書かれており非常に参考になりました。

私の年度テーマの「クラブ創立の原点に戻る」に非常に参考になります。週報に掲載しますのでご一読ください。



## クラブ創立時の話

### 鈴木 基一P.G

クラブ創立時前後について、思い出すままにお話しさせていただきます。

1968年(昭和43年)10月、栃木会館三笠での宇都宮クラブの例会に招かれて、金谷ガバナー、江部順治初代会長と懇談しました。

その後、大田原クラブに連絡があり、特別代表に川上安一郎を委嘱し、拡大調査報告書を私が作

成しましたが、大田原クラブより連絡がなく3年間放置されてしまいました。

1971年8月1日滝沢ガバナー、坂本地区幹事が拙宅に来訪され、当クラブの設立が本格的に始動することになりました。その後、地区拡大委員長江部さんが十日に一度来訪され指導を頂きました。同氏は90才近くの高齢で小山よりの来駕で頭のさがる思いでした。

私は創立会員予定者のお宅を度訪ね、27名の諒承を得ました。時塩原にはホンコ、チンコの話があり、東京ホテルの岡部さんの御尊父にのみお話をしました。

創立総会までの間に西那須野在住で大田原クラブの会員より度々呼び出しを受け何故クラブを設立するのかを問いつめられました。クラブの拡大増強をはばむものはロータリアン自身である事を強く感じました。ロータリーバッジがステータスシンボルで、それが町中に増えることを心よしとしないロータリアンがおると言うことです。

創立総会は1971年10月8日、足銀西那須野支店で開き3年前の苦い経験から特別代表により握りつぶされない為に私が拡大調査報告費を作成し、同年12月10日認証されました。

翌年6月4日ホテルニュー塩原にて伝達式を行いました。

1972年8月9日、岩瀬ガバナー公式訪問の際、同席されました滝沢直前ガバナーから「大概ロータリークラブと言うものは同じ様なクラブであり特徴をつくるように、このクラブは国際奉仕にぞ抜けていると言う様にしたら…」との示唆を受け私は次の六項目を基本と致しました。

### (1) 外来卓話：

高見先生のバングラディッシュの近況  
根岸先生の青年海外協力隊員ラオス体験  
米国スタンレイダン氏の日米比較  
タイ・バイ・ツクン氏のタイの癩病院  
米国スクポール氏の卓話

### (2) 外国クラブとの交流

D.524加州バイセリアロータリークラブとの交流。ライラガバナーロイスミダ会長(日系二世)

### (3) 国際理解の為の高校生夏季海外教室

7月25日～8月9日 バイセリア会員宅にホームステイ 団員22名

バイセリアR.C・ベッカーフィールドR.C・クバモアR.C→3 R.C訪問

### (4) 外人来訪者の歓待

米国、タイ、マレーシア、シンガポール、インド、セイロン、韓国、南ベトナム、南洋諸島より

約30名が来訪

(5) 海外クラブ訪問

イタリア、アメリカ、台湾

ヒューストン国際大会 伊藤甲太郎

ローザンヌ国際大会 鈴木伊勢松 小池保、伊藤甲太郎、渡辺弥八、上山幸三

(6) アジア学院の援助

東南アジア、アフリカよりの研修生の援助交歓。1972年10月、355～356地区連合地区大会が新潟県民会館で125R.Cが参加。三森、小出、草野、梨本、ショア及び私の6名が出席。私が参加クラブを代表して挨拶をする光栄に浴しました。当時は新幹線も無く夜行で行きました。車中ショアさんとの会話はお互い辞書を片手に、楽しく会話をしていました。

1972年1月4日、チャーターナイトの席上「坂本勉社中による奉仕の理想」の邦楽での記念演奏をしました。勿論本邦初演で後日全国六百余クラブに配布致しました。

記念事業の一環として四つのテストの碑を町庁舎の南側に建立し、1973年6月25日除幕し碑文は5代会長草野栄龍大僧正の筆による貴重なものがあります。

故塩川兵三郎会員は喘息でしたが、二階の例会場への階段を途中休み休みして出席しておられ、創立会員のクラブに対する熱情と出席の大切さを身を持って示されておられました。

岩瀬ガバナーの公式訪問に滝沢直前ガバナーが同席され「…伊藤(甲)さんにおめにかかったのは、鈴木会長宅で、伊藤さんはチーメンとしておいでになり、本当のところ、これでロータリアンになれるのだろうかと思った」と仰っておられましたが、勿論伊藤さんはロータリーのことを全然知らないのですから所謂愚問を発しますが、しばらくして驚いたことにヒューストンの国際大会に出席するとのことで私はびっくりしました。想像もしていなかったことでございます。

もう伊藤さんは恐らく今後一生ロータリーから離れられないと思うのであります。滝沢さんの推察の通り三代も続いております。伊藤さんは手帳に細かく書いておられましたのでむべなるかなと思います。

特筆すべきことはローザンヌ国際大会に出席すべく出発した一行が、パリで渡辺弥八君が発病し、鈴木伊勢松君が出席をとりやめ、同君を看とりながら帰国。その一週間後にはなくなりました。

これなどはロータリアンであればこそ成し得たことだろうと高く評価され、滝沢さんは色々なク

ラブで話されました。

また足銀の支店長の梨本欣司さんは自ら幹事を申し出て立派につとめられました。同君は小山南、岩井、西那須野三クラブの創立会員であると共に、銀行を辞められてからは俳優になられ活躍した異色のロータリアンでした。

第9回、I.C.G.Fが昭和47年2月に栃木会館で行われました。フォーラムリーダーの岡崎P.Gに次の意見具申を申し上げました。

「このフォーラムの目的はあくまでもロータリーの奉仕の理想を勉強する為の自由な討論会でありますから結論とか決定を伴いません」とフォーラムの目的にかかげておりながら、一部の部門別リーダーが討論途中で結論づけようとした事は、自画自賛しておる姿にしか私の眼には映りませんでした。これではフォーラムの意味がうすれてくるのではないのでしょうか。

このフォーラムが教育とロータリーの情報の提供にあるとするならば、フォーラムの直前まで討議資料も議題も知らされず、只漫然と出席する。そしてその場で質問の矢を浴びせる。それで宜しいのでしょうか。

以上について岡崎P.Gから長文の返事をいただきましたが、その要旨のみ申し上げます。「出席することによって会員の皆さんが、少しずつでもロータリーを見る目にピントが段々に合ってくると思う」との言葉には100%の賛意を表します。どんな勉強家でも努力家でも数えられる年月位ではその真髄をつかむ事は困難ではないかと思いません。かと言っても出席を怠っては一步たりともロータリーに近づくことは出来ません。

ロータリーは導かれるものでなく、教えられるものでもない。自ら求め励むことによって得られるものであります。ロータリーは組織であることに間違いはありませんが、忘れてはならないことは精神的運動であります。

自ら読み、自ら聞き、自ら疑って自分のロータリーを消化すべきものと考えています。従って我々はロータリーを得たいと希望しているもので到底悦に入っているとのことでもありません。お叱りをいただいたことを反省し「思いやりと助け合い」に大いに勉強を重ねてゆく積もりです。

以上ですがロータリーで出席が大切なことはおわかりになったと思います。当クラブの最近の出席をみますと例会は勿論のこと先日のI.Mにしましても余り良いとは思われませんので是非改善したいものです。

## 委員会報告

### 益子 修さん

- ・那須どうぶつ王国へのご参加、よろしくお願ひいたします。

### 星野 仁さん

- ・観桜会、座禅へのご参加、よろしくお願ひいたします。

### 小中 一成さん

- ・ふれあいまつりの案内をさせていただきます。チラシを机上に置いております。よろしくお願ひいたします。

### 渡邊 渉さん

- ・留学生受け入れについて、1～2名の受け入れをよろしくお願ひいたします。



## 転勤による退会あいさつ

### 金田 道太さん

人事異動により宇都宮に転勤することとなりました。本日が最後の例会出席となります。今までありがとうございました。

仕事を離れ諸先輩の皆様から奉仕の心、倫理について学ことができました。また役目を与えていただくことで自身の成長につながることもできました。これからの西那須野ロータリークラブの益々の発展を祈念いたしまして最後のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。



## 外来卓話

### 横浜隼人高等学校インターアクトクラブ

### 会長 関 優羽様

皆様、こんにちは。横浜隼人高等学校インターアクトクラブ会長の関優羽です。

本日は貴重な例会のお時間をいただき、誠にありがとうございます。私たちを温かく迎え入れてくださいました。西那須野ロータリークラブの皆様、アクター一同、心より感謝申し上げます。

私たち横浜隼人IAについて少しお話ししたいと思います。私たち横浜隼人IAが最も大切にしているのは、『地域との深い繋がり』です。

横浜の地元商店街でのイベントお手伝いや地域活性化の企画などを通じて、地域の方々の温かさに触れ、支えられながら活動しています。

単に奉仕をするだけでなく、地域の一員として顔の見える関係を築くことで、私たち自身も多くのことを学ばせていただいています。

今回の研修先であるアジア学院では、私たちが地域活動で培った『相手を思いやる心』をベースに、この研修ではさらに一步踏み出し、言葉や文化、価値観の違いを超えたコミュニケーションのあり方を学びたいと考えています。

ここで得た知見を持ち帰り、横浜での地域活動をさらに豊かにしていくことが、今回参加している5人アクターの使命だと感じています。

西那須野RCの皆様にお会いできたことは、私たちにとって非常に大きな刺激となります。短い時間ではございますが、皆様の活動やお考えを少しでも吸収させていただければ幸いです。

私からは以上です。ありがとうございました。



## フィリピンキャンプを通して得た学び

### 三村 涼健さん

今回のフィリピンキャンプに参加し、私自身の中にあつた豊かさや幸せに対する考え方を見直すきっかけを得ました。

実際に現地を訪れる前はスラムと聞くと、厳しい環境の中で生活し、暗い表情で過ごしている人が多いのではないかという印象を持っていました。しかし、現地で出会った人々や子どもたちは、そのような先入観を大きく覆す存在でした。

特に印象に残っているのは、スラムでの子ども

たちとの交流です。子どもたちは私たちに積極的に話しかけてくれ、折り紙などの活動にも興味を持って取り組んでくれました。限られた環境の中でもいきいきとした表情を見せる姿から、物の多さや便利さだけでは測れない豊かさがあることを実感しました。

人とのつながりや目の前の時間を大切にする姿勢もまた、生活を支える重要な要素であると感じました。

一方で、衛生面や生活環境には多くの課題があることも実際に目にしました。川にはおびただしい量のプラスチックごみが浮いており、トイレなどの衛生設備も十分に整っていないため、感染症が広がりやすい環境であると感じました。

しかし、訪問を通して、教育が進んでいる場所ほど生活環境も比較的整っている傾向があるように感じました。そのため、現在の生活環境をより良くしていくためには、物資や一時的な支援だけでなく、教育のさらなる発展が不可欠であると考えました。

教育の充実は将来の選択肢を広げるだけでなく、衛生や生活に対する意識の向上にもつながる重要な要素であると感じました。

今回の経験を通して、私は現地の人々の明るさや優しさに多くのことを学びました。そして、支援とは単に不足を補うことではなく、その地域の良さや人々の思いを尊重しながら行うべきものであると感じました。この学びを一過性のものにせず、自分にできることを考え、今後の行動に生かしていきたいです。

(フィリピンキャンプ感想文提出 国際医療福祉大学ボランティアセンター 長尾恵子)

## 会員卓話

### GG2580611 Reef buds 設置作業参加報告

#### 益子 浩会員

3月14日～16日グローバル補助金事業 人工サンゴ礁設置にフィリピンロンブロン島に月井会長・P.P.青山さんと3人で参加してまいりました。

朝3時起床→4時出発→9時の飛行機で5時間30分のフライト→マニラ飛行場→高速道路で2時間バタタンガス市(港)→16時フェリーでロンブロン島(9時間)→深夜2時ホテル着

9時車で設置場所へ移動、11時設置セレモニー開始→夕方18時～21時、市長達と歓迎晩餐会参加→22時フェリーでバタンガスへ向かう。

翌朝7時着、朝食後マニラ空港へ2時間移動→14時30分飛行機で成田へ向かう→西那須野到着23時といった強行日程でした。

高齢の私達にはいささか疲れしました。フィリピンの漁民はダイナマイト漁法といって、ダイナマイトを海に投げ込み浮いてきた魚を一網打尽にしていました。結果、海中のサンゴ礁は絶滅し魚も寄り付かなくなってしまいました。

そこで私たちはフィリピンの姉妹クラブであるパラニアックECとともに海の再生を目指し、人工サンゴ礁の設置を5年前より小規模でしたが行ってきました。

設置場所のバウアの海岸は荒れ果て海水もきれいとはほど遠い状況でしたが、2度にわたる人工サンゴ礁の設置で海水はきれいになり、魚も戻ってきました。

今回は姉妹クラブの桃園扶輪社のUSD16,000の協力及び友好クラブの郡山安積RCの協力もあり総額USD51,000の大規模な設置を行う事が出来ました。

設置にはロンブロン市長も参加いただき、今回の事業に大変感謝しておられました。今回のグローバル補助金事業は、ロータリーの友4月の環境月間に記載されますので、是非ご一読ください。

今までも、今回もそうですが、グローバル補助金事業等の記念のイベントには、時間の許す限り参加してみてください。

ロータリークラブは、超我の奉仕団体であります。ロータリー財団の「世界で良いことをしよう」を実感できることと思います。

尚、この人工サンゴ礁は、ココナッツの髄・火山で排出された軽石等でできており環境にやさしい素材で構成されております。



## スマイルボックス報告

委員長 大塚 久さん

月井 美好会長①横浜隼人インターアクトの皆様  
ようこそ。

②金田さんご栄転おめでとうございます。

益子 浩さん①お久しぶりです。時間が足りなくて大変です。

②横浜隼人インターアクトクラブの皆様ようこそ。

福本 光夫さん①横浜隼人高等学校インターアクトクラブの皆様ようこそ。

②生田目竜也関、三段目優勝おめでとうございます。

③アジア学院山下様ようこそ。

益子 修さん 横浜隼人高校インターアクトクラブの皆さんようこそ！

金田 道太さん 皆様、大変お世話になりました。西那須野ロータリークラブの益々のご発展を心より祈念しております。ありがとうございました。



スマイルボックス報告

出席報告



出席報告		出席委員長 永山三芳さん	
3月24日 第2485回(本年度第30回) 会員数42名			
出席	23名	前回3月17日	2484回例会
欠席	18名	欠席	17名
出席免除者	0名	M・U	名
出席率	56.10%	修正出席率	58.53%

	R	C	曜日	例会時間	例 会 場	電 話
姉 妹 友 好 ク ラ ブ 一 覧	パラニアック	東水原	月曜日	19:00	(D.3830) Tavern Asia	
		桃園座	木曜日	19:00	(D.3750) Gyeonggi-do Suwon-si Gwonseon-gu Segwon-ro 175, 3F	
		新山積	金曜日	12:30	(D.3502) 桃園市桃園區莊敬路二段369号 皇家薇庭	
		郡山安積	木曜日	12:30	新座市東北2-27-14 ベルセゾン	048 - 475 - 1122
		茂原中央	火曜日	12:30	郡山市山根町8-7 ベルヴィ郡山館	024 - 923 - 1165
近 隣 会 一 分 ク ラ ブ 一 覧	黒磯	大田原中央	水曜日	12:30	那須塩原市本町5-5 割烹石山	0287 - 62 - 0128
		大田原	木曜日		大田原市中田原2082-3 勝田屋記念会館	0287 - 23 - 4165
		黒羽	木曜日	12:30	大田原市黒羽向町2 ホテル花月	0287 - 54 - 1105
			金曜日	12:30	大田原市黒羽向町2 ホテル花月	0287 - 54 - 1105

事務所 いたう家 那須塩原市扇町7-12  
☎0287-36-0028 FAX36-2854

例会日 火曜日 12:30 例会場 いたう家 那須塩原市扇町7-12  
☎0287-36-0028

※3月のロータリーレート 1ドル156円